

目 視

わたなべ わ こ
神奈川 渡邊 和子 さん

ばちり

雨の日は、どんなに馬鹿なこともできちゃう気がする、無敵。
晴れの日のみちには灯りが無いのに、雨の日は足下に灯る
燈があるの、ぼぼぼ。
どんな本も、色と、温度と、水、そして数多の音でうまってる、
五感フル活動。
絵をかくときは、いろんなものを与えてくれる泥に溺れてる、ごぼつ。

ばちり

夢の中でも、無条件で空に立てることはないの、現実主義。
月にいるウサギは、きっと時計ウサギ。
だって、思考をとめて時間だけ進めていく。
アイスティーの中には線香花火がある。水の音と、パキン。
車は凍えた冬よりも、芽生える春が似合いそう。
静か、しずかに、穏やかに。

ばちり

忘れる時って、頭に花がかぶるみたい。くゆる、次第に降り積もる。
夜中って、静かな鏡の中みたい。なのに自分がくっきり浮かぶ。
髪を切るって、フィルムを刻んでいくみたい。
ザク、ざく、ぼろっ。ざくぼらん。
あの世に迎える彼岸の花は、枯骨を着飾るドレスみたい。
バレエのように、ひらひらふわり。

ばちり

いうこと聞かない頭の中は、かりんとうでできている。
かしゅ、かしゅ、くしゃり。
あたまた、水に浸して流される。ただし疲れたとき限定。
頑張る人のおめめには、金平糖が光ってる。
吸い込まれてく、ちか、ちか、ばちっ。
ビルから見える星空は、おっきな鯨が浮かんでる。
じゃあ、ここは海なのか。

ばちり

ばちり

ばちり

よくみえる。

絵 北山知絵子さん

2022年 ねじめ正一氏 選

やま ちよう すじ
高岡山町筋土蔵造りフェスタ協賛第19回
高岡・山町

作品募集

「高岡・山町ポエム大賞」は、第19回を迎えました。
山町ゆかりの詩人、ねじめ正一さんが選者を務めます。
今年もみなさんの力作、自信作をお待ちしています。

応募規定

資 格 全国の小・中・高校生 (個人、団体どちらでも可。18歳以下)

募集作品 未発表の詩で1人2編まで。題材は自由。家族や日常生活、
学校生活、恋や夢、高岡や山町について書いたものなど、
自由なテーマでお書きください。

※本大会への応募作は他の公募型コンクールへ応募できません。

書き方 400字詰め原稿用紙3枚以内。郵便番号、住所、氏名、
年齢、電話番号、学校名、学年を明記する。

応募方法 郵送・FAX・HPで下記宛先にご応募ください。
〒933-0911 富山県高岡市あわら町13-50
北日本新聞社西部本社「ポエム大賞」係
TEL.0766-22-2226 FAX.0766-25-7775
HP kitanippon.info/takaoka/yamacho-poem/

締め切り 2022年 9月15日(木) 必着

表彰式
入賞作品
講評会(予定)

日時

11月27日(日) 午後1時(予定)

会場

富山銀行本店 BOTホール
富山県高岡市下関町3-1 Tel.0766-21-3535

講師 ねじめ 正一 氏

1948年東京都生まれ。81年、処女詩集「ふ」で詩壇の芥川賞といわれるH氏賞受賞。
89年、小説「高円寺純情商店街」で直木賞受賞。2004年、絵本「まいごのことり」で
ひろすけ童話賞受賞。08年、小説「荒地の恋」で中央公論文芸賞受賞。著書に「認知
の母にキッスされ」「むーさんの自転車」「みどりとなすな」など。



発 表

大賞、富山銀行賞、最優秀賞、優秀賞の作品は
11月下旬、北日本新聞に掲載されます。

賞

大賞・北日本新聞社賞 1点(図書カード3万円分)
富山銀行賞 1点(図書カード1万円分)
小・中・高校で最優秀賞各 1点(図書カード1万円分)
優秀賞各2点(図書カード5千円分)
佳作各5点、奨励賞、学校賞

熱心に取り組んで
いただいた学校に
学校賞を贈ります。

◆主催 「高岡・山町ポエム大賞」実行委員会
(富山銀行、土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会、まちづくり会社・末広開発、北日本新聞社)

◆後援 富山県教育委員会・高岡市教育委員会・高岡商工会議所

▶詳しくは
HPをご覧ください

山町ポエム



■お問い合わせ
北日本新聞社西部本社
高岡事業部 Tel.0766-22-2226